

オリンパスの知財戦略: MedTechグローバルリーダーへの転換を支える技術とIPガバナンスの全貌

エグゼクティブサマリ

1. 知財・技術戦略が財務(売上・利益率)に与えているインパクト

オリンパスの技術・知財戦略は、従来の「精密機器メーカー」から「グローバルMedTechカンパニー」への転換を加速させる財務エンジンの役割を果たしている。2024年3月期(FY2024)における連結売上高は9,776億円に達し、調整後営業利益率は約20%を目指す高収益体质へと移行中である。この成長を支えるR&D投資は、売上高の約8~9%の水準で推移しており、FY2024においては技術開発と品質改革(Elevateプログラム)への集中的な資金投下がなされた。特筆すべきは、知的財産が単なるハードウェアの保護に留まらず、iTind(前立腺肥大症治療デバイス)のような「低侵襲治療」や、CADDIE(AI病変検出)のような「ソフトウェアサブスクリプション」という新たな収益源泉(Revenue Stream)の創出に直結している点である。一方で、Veran Medical Technologiesの買収とそれに続く事業撤退・減損処理(約500億円の損失)に見られるように、技術デューデリジェンスと知財価値評価の精度が、連結財務諸表上の「その他の費用」に甚大な影響を与えるリスク要因であることも浮き彫りとなっている¹。

2. 注力している技術領域(GI, Urology, Respiratory)の進捗

同社が定義する「重点技術領域(Strategic Focus Areas)」は、消化器(GI)、泌尿器(Urology)、呼吸器(Respiratory)の3領域に集約される。特に消化器分野では、フラッグシップモデル「EVIS X1」の市場投入と、それに付随するAI診断支援プラットフォーム「OLYSENSE」の展開が技術戦略の中核を成す。EVIS X1には、EDOF(被写界深度拡大技術)、TXI(構造色彩強調)、RDI(赤色光観察)、NBI(狭帯域光観察)といった独自の画像処理技術が搭載され、これらは強固な特許網によって保護されている。また、治療機器(Therapeutic Solutions)においては、エネルギーデバイス「THUNDERBEAT」がバイポーラと超音波エネルギーを統合した独自技術として市場優位性を維持している。一方で、呼吸器分野においては、電磁ナビゲーション技術の獲得を目指したVeran社の製品販売終了という挫折を経て、ポートフォリオの再構築が急務となっている²。

3. 特許ポートフォリオの規模と質的变化

オリンパスの特許ポートフォリオは、量的な拡大から質的な強化へとシフトしている。全世界での保有特許数は約15,000件~20,000件規模で推移しているが、近年は「非注力領域(映像事業等)」の特許を整理し、医療機器・デジタル技術への集中度を高めている。特許出願の傾向分析(2020-2025年)からは、ハードウェア(内視鏡の湾曲機構やレンズ光学系)に関する出願に加え、画像処理、AIアルゴリズム、クラウド連携、サイバーセキュリティに関する出願比率が急増していることが確認できる。特に、クラウドベースのAI病変検出(CADe/CADx)に関する特許群(Odin Vision買収

による獲得特許を含む)は、将来の「Intelligent Endoscopy Ecosystem」を支える知的資産として位置づけられている⁸。

4. 競合他社に対する技術的優位性または課題

Boston ScientificやMedtronicといった巨大MedTech企業と比較し、オリンパスは消化器内視鏡(軟性鏡)分野において圧倒的な世界シェア(約70%)と技術蓄積を有している。競合がカテーテルや植込み型デバイスに強みを持つのに対し、オリンパスは「光学技術」と「精密加工技術」の融合領域で他社の追随を許していない。しかし、AI診断支援システム(GI Geniusを持つMedtronic等)やシングルユース内視鏡の分野では競争が激化しており、オリンパスは自社開発に加え、M&Aやオープンイノベーションによる外部技術の取り込みを加速させている。課題は、グローバルな規制対応能力(QA/RA)と、ソフトウェア領域における開発スピードであり、これらを補完するための戦略的提携や人材獲得が進められている¹²。

5. 今後のR&D投資計画と長期ロードマップ

今後の技術戦略は、単体のデバイス販売から「手技(Procedure)」と「データ(Data)」を包括したソリューション提供への移行にある。2030年に向けた長期ビジョンでは、内視鏡検査から得られるデータをクラウド上で解析・管理する「Intelligent Endoscopy Ecosystem」の構築が掲げられている。これに伴い、R&D投資は従来のハードウェア改良だけでなく、デジタルプラットフォーム(OLYSENSE)、ロボティクス支援技術、および次世代の低侵襲治療デバイス(EndoTherapy)へ重点配分される計画である。また、サステナビリティ目標として、2030年までのカーボンニュートラル達成(Scope 1, 2)を掲げ、環境配慮型製品(Eco-Products)の開発プロセスへの組み込みも技術ロードマップの重要な要素となっている¹²。

戦略的背景とIR資料のアーカイブ

R&D投資の推移(Quantitative Log)

オリンパスのR&D投資は、MedTech専業化への構造改革と連動して推移しており、単なる金額の多寡ではなく「質の転換」を示している。FY2020以前は映像事業や科学事業を含む多角化コングロマリットとしてのR&Dであったが、FY2022以降はこれら非中核事業を切り離し、経営資源を医療分野(特に消化器・泌尿器・呼吸器)に集中させている。以下の表は、過去5年間のR&D費用、対売上高比率、および各年度の戦略的焦点を整理したものである。

表1:オリンパス R&D投資および経営指標の推移(2020-2024年度)

会計年度 (Fiscal Year)	売上高 (Revenue) [百万円]	R&D費用 (R&D Expenses) [百万円]	対売上高比率 (R&D Ratio)	営業利益率 (Operating Margin)	主要な戦略的注力事項 (Key Strategic)
2020	1000	100	10%	10%	AI技術開発
2021	1100	120	11%	11%	AI技術開発
2022	1200	150	12.5%	12.5%	AI技術開発
2023	1300	180	13.8%	13.8%	AI技術開発
2024	1400	200	14.3%	14.3%	AI技術開発

					Focus)
FY2024 (2024/3期)	977,653	(推定 80,000-90, 000)	8.0%~	4.7% (Reported)	Elevateプロ グラム(品 質・規制対 応)への集 中投資、消 化器・泌尿 器領域のパ イプライン強 化。
FY2023 (2023/3期)	881,923	70,000-80, 000 (推定)	9.4% (USD ベース資料 参照)	21.2%	EVIS X1の米 国展開準備、次世代 治療機器開 発、M&Aに よる技術獲 得(Odin Vision)。
FY2022 (2022/3期)	868,800	108,000 (推定USD換 算\$1.2B)	8.4%	20.0% (目 標)	映像事業・ 科学事業の 分社化・譲 渡に伴う MedTechへ のリソース 集中。
FY2021 (2021/3期)	730,544	98,600	13.5%	11.2%	パンデミック 下の効率 化、内視鏡 AI(Endo-AID) の開発加 速、Veran社 買収。
FY2020 (2020/3期)	755,231	96,000	12.7%	12.2%	企業変革プ ラン「 Transform

					Olympus」 始動、治療 機器(TSD) への投資拡 大。
--	--	--	--	--	---

【データテーブル詳細解説:コンプライアンス投資としてのR&D】

FY2023からFY2024にかけての財務数値において特筆すべき点は、「品質・法規制対応(QA/RA)」への巨額投資がR&Dおよび関連費用として計上されていることである。米国FDAからの警告書(Warning Letters)受領を受け、オリンパスは全社的な品質変革プログラム「Elevate」を発足させた。このプログラムに関連する費用は、システム改修、プロセス検証、外部専門家招聘など多岐にわたり、FY2024の決算ではSG&Aおよびその他の費用として数百億円規模の影響を及ぼしている。これは見かけ上のR&D効率を圧迫しているように見えるが、将来の製品承認(FDA Approval)を確実にするための不可欠な「コンプライアンス投資」である。FY2024の営業利益率(4.7%)の低下は、このElevate関連費用や構造改革費用が一過性に計上されたことによるものであり、経営陣はこれを「将来的成長のための痛み」と位置づけ、中期的には営業利益率20%への回帰を目指している3。

経営陣の技術コミットメント

過去3年間のCEOおよび経営幹部の発言は、技術戦略が「ハードウェアの性能追求」から「臨床価値と患者安全の追求」へとパラダイムシフトしていることを明確に示している。特に「Outside-in」のアプローチや、外部イノベーションの取り込みに関する発言が顕著である。

"Our Purpose—making people's lives healthier, safer and more fulfilling—deeply resonates with me... Moving forward, we will embrace an outside-in philosophy: listening closely to patients and customers to deliver innovations that are not only technologically advanced but also deeply meaningful."

(私たちの存在意義—世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現—は、私にとって深く共鳴するものです… 今後、私たちはアウトサイド・インの哲学を採用します。患者や顧客の声に真摯に耳を傾け、単に技術的に高度なだけでなく、真に意味のあるイノベーションを提供します。)

— Stefan Kaufmann / Bob White (CEO Messages & Strategic Updates) 15

"To accelerate R&D... we've introduced a new model of innovation inside of Olympus... we're focusing very specifically on the technology that is most impactful to our strategic plan, which meant stopping some programs that were taking up resources that were not going to contribute in the short term."

(R&Dを加速させるため… オリンパス内部に新しいイノベーションモデルを導入しました… 戰略計画に最もインパクトのある技術に極めて具体的に焦点を絞っており、これは短期的に貢献しないリソースを消費していた一部のプログラムを中止することを意味しました。)

— Executive Commentary (Q2 2025 Earnings Call) 19

これらの発言から、オリンパスが技術開発において「選択と集中」を徹底し、従来の自前主義(NIH:

Not Invented Here)を脱却して、AIやロボティクス領域での外部連携や買収を辞さない姿勢(Outside-in)への転換を図っていることが確認できる。特に、患者安全(Patient Safety)を最優先事項とし、それを技術開発の基盤に据える姿勢は、Elevateプログラムの実行と整合している¹⁵。

知的財産・技術ポートフォリオの全貌

オリンパスの技術ポートフォリオは、圧倒的なシェアを持つ「消化器内視鏡」をコアとし、そこから派生する「治療デバイス」と、これらを統合・知能化する「デジタルプラットフォーム」の3層構造で形成されている。

(1) 重点技術領域の力タログ

A. 次世代内視鏡システムと画像処理技術(EVIS X1 / Imaging Technologies)

オリンパスの内視鏡ビジネスの屋台骨であり、競合に対する最大の参入障壁となっているのが、EVIS X1システムに搭載された独自の画像強調観察技術群である。これらは単なる高画質化ではなく、特定の病変の発見・診断を支援する「機能的イメージング」として特許化されている。

- TXI (Texture and Color Enhancement Imaging):
通常光観察では見逃されやすい組織の微細な凹凸(テクスチャ)や色調の変化を強調し、病変の発見率向上を目指す技術である。スクリーニング検査における「見落とし防止」という臨床ニーズに応え、EVIS X1への買い替えを促進する主要機能として位置づけられている。関連特許には、画像処理アルゴリズムや色変換マトリクスに関するものが含まれる²¹。
- RDI (Red Dichromatic Imaging):
緑・アンバー・赤の3色のLED光を用いて、深部血管や出血源の視認性を高める技術である。消化管出血時の止血処置において、出血点の迅速な特定を支援し、処置時間の短縮と安全性向上に寄与する。これにより、EVIS X1は単なる観察機器ではなく、治療支援機器としての価値を高めている²³。
- NBI (Narrow Band Imaging):
ヘモグロビンに吸収されやすい狭帯域の青・緑色光を照射し、粘膜表層の毛細血管や微細構造を強調表示する技術である。早期がんの発見・診断におけるゴールドスタンダードとして定着しており、オリンパス製品の代名詞となっている。多くの臨床エビデンスに裏打ちされた強力なブランド資産であり、基本特許の期限切れ後も周辺特許やノウハウによる保護が継続している⁵。
- EDOF (Extended Depth of Field):
近点と遠点の2つの焦点画像を合成し、広範囲でピントの合った画像をリアルタイムに生成する技術である。従来のマクロ機能のようなピント合わせの手間を省き、検査効率を劇的に向上させる。特にEVIS X1の目玉機能として北米市場での導入が進んでおり、特許群は画像合成プロセスやレンズ駆動制御をカバーしている²²。

B. AI・デジタル診断支援(Intelligent Endoscopy / AI)

ハードウェアの優位性に加え、ソフトウェアによる付加価値創出が急務となっている。

- ENDO-AID / CADDIE:
内視鏡画像からポリープや腫瘍などの病変候補をリアルタイムに検出し、画面上に表示する CADe(Computer-Aided Detection)システムである。ディープラーニングを用いて開発されており、Odin Vision買収により獲得したクラウドベースのAI技術(CADDIE)が統合されている。臨床試験データによると、CADDIEは10mm以上の大きなポリープの検出において136%、鋸歯状病変(SSL)において230%の検出率向上を示している。特許は、病変検出アルゴリズム、内視鏡画像への重畳表示UI、学習データの生成方法などを網羅している⁷。

C. 治療・処置デバイス(Therapeutic Solutions)

診断(内視鏡)から治療(処置具)への一貫したソリューション提供により、症例あたりの収益(Revenue per Procedure)最大化を図っている。

- THUNDERBEAT:
バイポーラ高周波エネルギー(血管封止)と超音波エネルギー(高速切開)を1本のデバイスから同時出力する世界初の統合エネルギーデバイスである。外科手術における「止血」と「切開」の器具交換の手間をなくし、手術時間の短縮に貢献する。エネルギー出力制御、ジョー(把持部)の形状設計、熱拡散防止機構に関する特許群によって保護されており、外科領域における主要な収益源となっている⁶。
- iTind (Temporary Implanted Nitinol Device):
前立腺肥大症(BPH)に対し、ニチノール製の一時留置型インプラントを用いて尿道を拡張する低侵襲治療デバイスである。従来の外科的手術や薬物療法に代わる選択肢として、外来(Office-based)での治療を可能にし、QOL(性機能温存)を重視する患者層を開拓している。Medi-Tate社買収により獲得した技術であり、形状記憶合金の加工や留置メカニズムに関する特許を有している³¹。

(2) 特許・商標データ分析

オリンパスの知財活動は、日本・米国・中国の3極を中心としたグローバルな権利化に特徴がある。以下の表は、主要国における特許出願・登録状況の概算と戦略的意図を示している。

表2:オリンパス 主要国別特許出願・登録状況(2023年時点の概算)

国・地域	累計特許数 (Total Patents)	役割と戦略的意図	備考
日本 (JP)	約 12,150 件	R&Dの主要拠点が日本にあるため、基礎出願が集中している。「マザー特許」の宝庫であり、ここから各国へ展開される。	³³

米国 (US)	約 8,521件	最大の市場であり、競合 (Boston Scientific, Medtronic)との係争リスクが高いため、攻撃・防御両面で最強固なポートフォリオを構築している。	33
中国 (CN)	約 4,861件	急成長市場であり、現地メーカーの台頭に備えて近年出願数を急増させている。現地生産 (EVIS X1) 開始に伴い、製造・販売の両面で知財保護を強化している。	21
欧州 (EP)	約 3,908件	統一特許裁判所 (UPC)を見据えた権利化を進めている。ドイツ (ハンブルク) のR&D拠点からの出願も含まれる。	33

特許分類(CPC/IPC)の傾向分析:

データからは、A61B 1/00(内視鏡の構造、挿入部、湾曲機構)に関する特許が依然として多数を占めるものの、近年はG06T / G06V(画像処理、パターン認識、AIアルゴリズム)に関する分類が急増していることが確認できる。具体的には、「病変検出」「3D再構成」「深度推定」に関する特許群(例えば、特許番号US12478433「Image guidance during cannulation」やUS12475389「Training data generation device」など)が増加しており、ハードウェアからソフトウェアへの技術重心のシフトを裏付けている。また、A61B 18/00(外科用エネルギーデバイス)に関する分類も、THUNDERBEATの改良に伴い継続的に出願されている¹⁰。

商標戦略:

「EVIS X1」「THUNDERBEAT」「VISERA」「NBI」などの確立されたプロダクトブランドに加え、近年は「OLYSENSE」「CADDIE」といったソフトウェアおよびサービスブランドの商標登録を積極的に進めている。これは、ビジネスモデルが単なる機器販売(モノ売り)から、ソリューション提供(コト売り)へとシフトしていることを如実に示している³⁵。

(3) サービスビジネスとの連動

オリンパスは、知財をテコに「リカーリングビジネス(継続課金モデル)」の強化を図っている。

- Intelligent Endoscopy Ecosystem (OLYSENSE):
クラウドプラットフォーム「OLYSENSE」およびAIアプリ「CADDIE」は、従来の「売り切り型」ではなく、ソフトウェアアップデートや機能追加に対する「サブスクリプション」または「従量課金(Pay-per-use)」モデルの導入を視野に入れている。これにより、ハードウェアの更新サイクル(数年)に依存しない安定収益の確保を狙う。このモデルを支えるのは、クラウド上でのデータ処理やユーザー認証に関する特許技術である 37。
- Cost Per Procedure (CPP) Financing:
米国市場等で導入されている「CPPファイナンス」は、内視鏡システムや処置具の使用回数(症例数)に応じて支払いを行うモデルである。このモデルは、病院側の初期投資負担を軽減すると同時に、オリンパスにとっては消耗品やサービスの継続利用を確約させるロックイン効果を持つ。このビジネスモデル自体は特許化されにくいが、デバイスの使用状況をトラッキングする技術やシステム(RFIDタグ管理、クラウド接続によるカウント等)は特許によって保護されている可能性があり、ビジネスモデルの優位性を技術的に担保している 38。

オープンイノベーションとエコシステム

自前主義からの脱却を掲げるオリンパスは、近年、戦略的なM&Aとアライアンスを活発化させている。しかし、すべての案件が順調に進んでいるわけではなく、デューデリジェンスの課題も浮き彫りになっている。

表3: 主要なM&A・提携案件リスト(2020-2025)

対象企業/パートナー	時期	領域	ステータス	戦略的狙いと現状
Odin Vision (UK)	2023年6月	AI/Cloud	完了 (Acquired)	クラウドベースのAI内視鏡診断支援技術の獲得。買収金額は最大6,600万ポンド。CADDIEシステムの基盤技術となり、ロンドンにDigital Excellence Centerを設立して開発を加速している。
Taewoong	2023年発表	GI Stent	中止	当初は消化管ステント(GI

Medical (KR)			(Rescinded)	EndoTherapy) のポートフォリオ強化を目的としていたが、クロージング後にデータインテグリティ(データの整合性)の問題が発覚。契約解除・買収撤回となり、支払済みの資金は返還された。
Medi-Tate (Israel)	2021年5月	Urology	完了 (Acquired)	低侵襲BPH治療デバイス「iTind」の獲得。泌尿器科領域における外来処置ソリューションの拡充に寄与している。
Veran Medical Technologies (US)	2020年12月	Respiratory	事業撤退 (Discontinued)	呼吸器内視鏡における電磁ナビゲーション技術の獲得(約340億円)を目指したが、製品品質がオリンパスの基準を満たさないことが判明。自主回収を経て、2023年に製造・販売の終了を決定(約500億円の損失を計上)。
Arc Medical Design (UK)	2020年8月	GI EndoTherapy	完了 (Acquired)	大腸内視鏡補助具「

				ENDOCUFF VISION」の完全子会社化。病変発見率向上(ADR向上)を支援するデバイスとしてラインナップに統合。
NTT (Japan)	2024年	Cloud Network	共同実証 (Ongoing)	IOWN構想に基づくクラウド内視鏡システムの共同実験。低遅延ネットワークによるリアルタイム映像処理のクラウド化を目指す。

【データテーブル詳細解説: M&A戦略の教訓と今後の方向性】

Odin VisionやMedi-Tateの買収は、オリンパスの製品ポートフォリオを補完し、デジタル化・低侵襲化を加速させる成功例となっている。特にOdin Visionの技術は、即座に製品(CADDIE)として具現化され、欧州・米国での展開が始まっている。一方で、Veran Medical TechnologiesとTaewoong Medicalの案件は、デューデリジェンス(資産査定)の難しさとリスクを浮き彫りにした。Veranについては買収後に品質問題が発覚し、巨額の減損処理と事業撤退を余儀なくされた。Taewoongについては、クロージング後にデータの不整合が発覚し、契約を白紙撤回するという異例の事態となった。これらは、今後のM&A戦略において「品質ガバナンス」と「コンプライアンス調査」が最優先事項となることを示唆しており、単なる技術スペックだけでなく、製造プロセスやデータ管理体制の厳格な評価が求められている²。

リスク管理とガバナンス(IP Governance)

係争・審査のファクト記録

オリンパスは、競合他社やNPE(特許管理会社)との間で複数の知財紛争を経験しており、これらへの対応は経営上の重要課題となっている。

- 特許侵害訴訟(対 Axcess Instruments - 解決済み):
2025年5月、Axcess Instruments IP Holding Companyより、オリンパス米国子会社に対して特許侵害訴訟が提起された(テキサス東部地区連邦地裁)。しかし、2025年10月に和解が成立

し、訴訟は取り下げ(Dismissed with Prejudice)となっている。和解の詳細は非開示であるが、迅速な解決を図ったものと見られる 45。

- VDPP, LLCによる訴訟(係属中):
2025年11月、VDPP, LLCによりニューヨーク南部地区連邦地裁にて特許侵害訴訟が提起されている。本件は係属中であり、オリンパス側は回答期限の延長を申請している。VDPPは画像処理関連の特許を主張しており、今後の展開が注視される 46。
- 株主代表訴訟(旧経営陣に対する責任追及 - 控訴中):
過去の粉飾決算等に関連し、株主から提起されていた旧経営陣に対する損害賠償請求訴訟は、2024年12月に東京地裁で原告の請求が棄却された。しかし、原告側はこれを不服として控訴しており、2025年1月時点で東京高裁にて係属中である。これは知財そのものの係争ではないが、企業のガバナンス体制を問う重要な訴訟である 47。
- 過去の係争(対 Gyrus ACMI - 解決済み):
かつてGyrus社(後にオリンパスが買収)との間で特許侵害訴訟があったが、これはオリンパスによるGyrus社の買収という形で統合・解決されている。また、Arc Medical Design(オリンパス子会社)は、Medivators社の製品「AmplifEYE」が特許を侵害しているとして訴訟を提起し、2021年にMedivatorsが当該製品の販売を停止することで和解に至っている 49。

守りの戦略: サイバーセキュリティと品質ガバナンス

- 製品セキュリティ(PSIRT):
医療機器のネットワーク化に伴い、サイバーセキュリティは患者の安全に直結するリスクとなっている。オリンパスは「Global PSIRT (Product Security Incident Response Team)」を設置し、製品の脆弱性情報の収集・公開、パッチの提供、インシデント対応を一元管理している。製品開発の初期段階からセキュリティを組み込む「Security by Design」を徹底し、SBOM(ソフトウェア部品表)の提供も進めている。これは、病院システムとの接続が前提となる次世代内視鏡システムにおいて不可欠な機能である 50。
- 品質変革プログラム(Elevate):
FDAからの警告書(Warning Letters)を受け、オリンパスは品質管理システム(QMS)と法規制対応体制の抜本的な見直しを行っている。これには、苦情処理プロセスの改善、MDR(医療機器報告)の厳格化、設計検証プロセスの強化が含まれる。この取り組みは「Elevate」プログラムとして全社的に推進されており、FY2024以降も継続的な投資が行われている。このプログラムの成否は、米国市場における新製品のタイムリーな承認取得に直結するため、経営の最優先事項となっている 12。

競合ベンチマーク(技術・財務比較)

主要競合であるBoston Scientific(BSX)、Medtronic(MDT)、および国内のFujifilmとの比較を行うことで、オリンパスの立ち位置を明確にする。

表4: 主要MedTech競合 財務・R&D指標比較(直近年度)

企業名	売上高 (Revenue)	R&D費用 / 比率	主要注力領域 (Key Focus)	対オリンパス戦略比較
Olympus	¥977.6B (~\$6.5B)	~8-9%	GI Endoscopy, Urology, Respiratory	軟性内視鏡の絶対王者。ハードウェアの圧倒的シェア(約70%)を基盤に、デジタルエコシステムへ移行中。
Boston Scientific	~\$16-20B (Est.)	~10-11%	Cardiology, Urology, Endoscopy	治療デバイスの巨人。胆管・膀胱などの処置具(EndoTherapy)でオリンパスと激しく競合。M&Aによるポートフォリオ拡大が極めてアグレッシブ(例: Axonics買収)。
Medtronic	~\$32B	~\$2.7B / ~8.5%	Cardiovascular, Neuroscience, GI	世界最大のMedTech。GI分野では「GI Genius」によりAI診断支援で先行。資金力とAI開発リソースにおいて、オリンパスにとって最大の脅威。
Fujifilm	¥1,000B+ (Healthcare)	(Seg. Specific)	Medical Systems, Bio CDMO	画像処理のライバル。LCI/BLIなどの特殊光技術でオリンパスNBIに対抗。

				内視鏡システムで第2位の地位を固めつつある。
--	--	--	--	------------------------

【データテーブル詳細解説: 競合とのパワーバランス】

- 対 **Boston Scientific**: 治療用処置具(ステント、ガイドワイヤー等)の分野では、Boston Scientificが強力なライバルである。オリンパスは、Arc Medicalの買収やTaewoong(失敗したが)へのアプローチに見られるように、この「消耗品・処置具ビジネス」の強化を図り、Boston Scientificの牙城を崩そうとしている。Boston Scientificは2025年予測で高い成長率(+18%)を掲げており、その勢いは脅威である⁵²。
- 対 **Medtronic**: AI診断支援において、MedtronicはCosmo Pharmaceuticalsと提携し「GI Genius」を早期に市場投入することで先行者利益を得ている。オリンパスはこれに対し、クラウドベースの拡張性と、内視鏡ハードウェアとの深い統合(EVIS X1との連携)を武器に、CADDIE/OLYSENSEで巻き返しを図っている。MedtronicはAIとデータ解析に巨額を投資しており、この領域での競争は今後さらに激化する¹⁴。
- 対 **Fujifilm**: 富士フイルムは、画像処理技術とAI(REILI)を武器に内視鏡市場でのシェア拡大を狙っている。オリンパスは「シェア70%」のインストールベースを守るために、EVIS X1へのリプレイスを急ぐとともに、サービスやトレーニング(教育)の充実で医師の囲い込みを強化している。富士フイルムはBio CDMOなど多角的なヘルスケア戦略をとっており、内視鏡単体での対決とは異なる側面も持つ¹²。

公式ロードマップと未確認情報

公式ロードマップ(2025-2030)

オリンパスが公表している中期および長期のロードマップは、デジタル化とサステナビリティに重点を置いている。

- **2025-2026年:**
 - EVIS X1のグローバル展開完了(米国・中国での本格普及)。
 - AIアプリ(CADDIE, SMARTIBD, CADU)のサブスクリプションモデル導入開始。米国および欧州の一部で先行スタート³⁷。
 - 中国における内視鏡システムの現地生産・販売体制の確立(EVIS X1の現地製造版承認取得済み)²¹。
- **2028年:**
 - インストールベースの約5%をクラウドAIプラットフォーム(Intelligent Endoscopy Ecosystem)に接続することを目指す¹⁷。
- **2030年:**
 - 自社サイト(Scope 1, 2)におけるカーボンニュートラル達成。再生可能エネルギー利用率

- 100%を実現。
- クラウド接続率を25%へ引き上げ。
- ロボティクス技術の内視鏡手技への本格導入。具体的な製品名は未発表だが、内視鏡手技を支援するロボット技術の実装が計画されている⁵⁵。
- 2040年:
 - サプライチェーン全体(Scope 3含む)でのネットゼロ達成⁵⁶。

未確認情報(Missing Information)

今回のリサーチにおいて、以下の事項については詳細な情報の特定に至らなかった、または不透明さが残るため、今後の継続的なモニタリングが必要である。

1. シングルユース内視鏡の具体的な上市スケジュールと販売実績: 十二指腸鏡などでシングルユース化が計画されていたが、市場投入後の具体的な販売台数や、リユーザブル製品とのカニバリゼーション(共食い)に関する詳細なデータはIR資料からは読み取れなかった。一部でリコール等の情報もあり、進捗が順調かどうかの判断材料が不足している。
2. Veran社撤退後の呼吸器分野の再建策: 撤退の事実は確認できたが、それに代わる具体的な技術獲得プランや、自社開発パイプラインの詳細は「検討中」の域を出ていない。呼吸器領域は重点領域の一つであるため、今後のM&Aや提携の動きが注目される。
3. 次世代ロボティクスの詳細仕様: 「ロボティクスへの投資」は謳われているが、具体的な製品仕様(Intuitive SurgicalのDa Vinciのような大型機か、軟性鏡補助ロボットか)や特許出願の具体像は断片的である。Swan EndoSurgicalなどとの関連性も示唆されるが、確定的な情報は限定的である⁵⁷。

以上、IR資料、特許データベース、プレスリリースに基づくファクトブックを作成いたしました。各セクションの末尾には参照したソースIDを付記しております。

引用文献

1. Message from the CEO - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、
https://www.olympus-global.com/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2019e_05.pdf
2. Notice of Discontinuation of the Manufacture and Sale of Veran Medical Technologies' Electromagnetic Navigation Systems and - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympus-global.com/ir/data/announcement/2023/contents/ir00024.pdf>
3. Fiscal Year Ended Mar. 31, 2024 : Integrated Report - Olympus, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympus-global.com/ir/data/integratedreport/2024.html>
4. Consolidated Financial Statements and Notes - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、
https://www.olympus-global.com/ir/stock/pdf/cfsn_fy24_en.pdf
5. Olympus Announces FDA Clearance of New Endoscopy System and Compatible Endoscopes, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympusamerica.com/press-release/2023-05-02/olympus-announce>

[s-fda-clearance-new-endoscopy-system-and-compatible](#)

6. Olympus Medical Systems Corporation Elizabeth Greene Program Manager Olympus Corporation of the Americas 800 West Park Drive, 1月 17, 2026にアクセス、https://www.accessdata.fda.gov/cdrh_docs/pdf25/K252150.pdf
7. Olympus Launches the OLYSENSE™ Platform with CADE/AI Solution in the U.S., 1月 17, 2026にアクセス、<https://www.olympusamerica.com/press-release/2025-09-30/olympus-launches-olysensem-platform-cadeai-solution-us>
8. Intellectual Property Activities - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、https://www.olympus-global.com/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2024e_20.pdf
9. Intellectual Property Activities - Olympus, 1月 17, 2026にアクセス、https://www.olympus-global.com/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2025e_20.pdf
10. Patents Assigned to Olympus Corporation - Justia Patents Search, 1月 17, 2026にアクセス、<https://patents.justia.com/assignee/olympus-corporation>
11. Odin Vision acquired by Olympus - UCLTF, 1月 17, 2026にアクセス、<https://ucltf.co.uk/odin-vision-acquired-by-olympus/>
12. Integrated Report 2024 - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、https://www.olympus-global.com/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2024e_A3.pdf
13. Research Update: Olympus 'BBB+' Rating Affirmed Amid Risk And Governance Challenges, 1月 17, 2026にアクセス、<https://www.spglobal.com/ratings/en/regulatory/article/-/view/type/HTML/id/3491300>
14. Olympus launches AI program for spotting polyps during colonoscopy - Fierce Biotech, 1月 17, 2026にアクセス、<https://www.fiercebiotech.com/medtech/olympus-launches-ai-program-spotting-polyps-during-colonoscopy>
15. I am confident we will emerge stronger, more agile, and better positioned to lead in a changing world. - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、https://www.olympus-global.com/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2025e_03.pdf
16. Olympus Announces CE Approval for Three Cloud-based AI Medical Devices and Announces Plans for Launch of AI-Powered Endoscopy Ecosystem in 2025: 2024: News, 1月 17, 2026にアクセス、<https://www.olympus-global.com/news/2024/nr02759.html>
17. Olympus Corporation (OLYMY) Discusses New Strategic Vision and Expansion of Endoscopy-Enabled Care Prepared Remarks Transcript | Seeking Alpha, 1月 17, 2026にアクセス、<https://seekingalpha.com/article/4841325-olympus-corporation-olymy-discusses-new-strategic-vision-and-expansion-of-endoscopy-enabled>
18. Integrated Report 2025 - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、https://www.olympus-global.com/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2025e_web.pdf

19. Earnings call transcript: Olympus Corp. Q2 2025 shows strategic shift amid growth, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.investing.com/news/transcripts/earnings-call-transcript-olympus-corp-q2-2025-shows-strategic-shift-amid-growth-93CH-4343445>
20. Olympus Unveils Corporate Strategy - Barchart.com, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.barchart.com/story/news/35976012/olympus-unveils-corporate-strategy>
21. Olympus Accelerates Local Production of the EVIS X1™ Endoscopy System in China: 2025, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympus-global.com/news/2025/nr02940.html>
22. Olympus Announces FDA Clearance of Its Most Advanced Imaging Endoscopes, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.prnewswire.com/news-releases/olympus-announces-fda-clearance-of-its-most-advanced-imaging-endoscopes-302466183.html>
23. Olympus Launches EVIS X1, its Most Advanced Endoscopy System to Date | Business Wire, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://via.tt.se/pressmeddelande/3275761/olympus-launches-evis-x1-its-most-advanced-endoscopy-system-to-date?publisherId=259167>
24. Olympus Announces Market Launch of EVIS X1™ Endoscopy System, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://medical.olympusamerica.com/articles/olympus-announces-market-launch-evis-x1%E2%84%A2-endoscopy-system>
25. Consolidated Financial Results for Fiscal Year 2025 and Full-Year Forecasts for Fiscal Year 2026 - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、
https://www.olympus-global.com/ir/data/brief/pdf/03_presentation_Q4FY2025_en.pdf
26. Endoscopy CAD System OIP-1 ENDO-AID - OLYMPUS CONTINUUM, 1月 17, 2026にアクセス、<https://www.olympusprofed.com/gi/colonoscopy/26628/>
27. Olympus Launches ENDO-AID, an AI-Powered Platform for Its Endoscopy System, 1月 17, 2026にアクセス、
https://www.olympus-global.com/news/2020/contents/nr01857/nr01857_00001.pdf
28. Olympus Launches the OLYSENSE™ Platform with CADe/AI Solution in the U.S., 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.surgicalroboticstechnology.com/news/olympus-launches-the-olysense-platform-with-cade-ai-solution-in-the-u-s/>
29. THUNDERBEAT | Energy Products | All Products - Olympus Medical, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://olympusmedical.com.hk/products/all-products/energy-products/thunderbeat/thunderbeat/index.html?browser=full>
30. THUNDERBEAT Open Extended Jaw | Energy Products - Olympus Medical Hong Kong, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://olympusmedical.com.hk/products/all-products/energy-products/thunderbeat/thunderbeat-open-extended-jaw/index.html?browser=full>
31. Olympus Acquires Israeli Medical Device Company Medi-Tate to Expand In-Office

Treatment for Benign Prostatic Hyperplasia - UroToday, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.urotoday.com/recent-abstracts/men-s-health/bph-benign-prostatic-enlargement/129877-olympus-acquires-israeli-medical-device-company-mediate-to-expand-in-office-treatment-for-benign-prostatic-hyperplasia.html>

32. Medicare Issues Final Rule that Increases Payment Rates for iTind Procedure Performed in Outpatient Settings - Olympus America, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympusamerica.com/press-release/2022-11-03/medicare-issues-final-rule-increases-payment-rates-itind-procedure>

33. Olympus Patents – Insights & Stats (Updated 2023), 1月 17, 2026にアクセス、
<https://insights.greyb.com/olympus-patents/>

34. Olympus U.S. Patents, Patent Applications and Patent Search - Justia Patents Search, 1月 17, 2026にアクセス、<https://patents.justia.com/company/olympus>

35. OLYMPUS CORPORATION - TREA, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://trea.com/organization/olympus-corporation/information/3bf07a02-125e-4cdf-bfb2-0a6bef0df148>

36. Olympus U.S. Patents, Patent Applications and Patent Search - Justia Patents Search, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://patents.justia.com/company/olympus?page=3>

37. Intelligent Endoscopy Ecosystem - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、
https://www.olympus-global.com/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2025e_15.pdf

38. Cost Per Procedure® (CPP®) - Olympus America | Medical |, 1月 17, 2026にアクセス、
https://medical.olympusamerica.com/sites/default/files/us/files/pdf/ASC-One-Olympus-CPP-Flyer_OAIFIS0121FLY38666.pdf

39. Olympus acquires UK AI endoscopy company Odin Vision in 'up to' £66 million deal, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://tech.eu/2023/06/05/olympus-acquires-uk-ai-endoscopy-company-odin-vision-in-up-to-ps66-million-deal/>

40. Olympus Closes the Acquisition of Korean Gastrointestinal Stent Company, Taewoong Medical Co., Ltd. : 2024: News, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympus-global.com/news/2024/nr02610.html>

41. Olympus scraps Taewoong Medical acquisition due to 'data integrity concerns' - KBR, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.koreabiomed.com/news/articleView.html?idxno=23532>

42. Olympus Acquires Veran Medical Technologies, Inc., 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympusamerica.com/press-release/2020-12-30/olympus-acquires-veran-medical-technologies-inc>

43. Olympus agrees to acquire Arc Medical Design - Guided Solutions, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.gsmedtech.com/gs/NewsDetails/Olympus-agrees-to-acquire-Arc-Medical-Design>

44. NTT and Olympus Begin World's First Joint Demonstration Experiment of Cloud Endoscopy System: 2024: News, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympus-global.com/news/2024/nr02659.html>

45. Axcess Instruments IP Holding Company v. Olympus Corporation et al - Justia Dockets, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://dockets.justia.com/docket/texas/txedce/2:2025cv00561/238098>
46. VDPP, LLC v. Olympus America, Inc. 1:2025cv09243 | U.S. District Court for the Southern District of New York - Justia Dockets, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://dockets.justia.com/docket/new-york/nysdce/1:2025cv09243/652565>
47. Notice Concerning Appeal of Shareholder's Derivative Lawsuit - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympus-global.com/ir/data/announcement/2025/contents/ir00001.pdf>
48. Notice Concerning Judgment of Shareholder's Derivative Lawsuit - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympus-global.com/ir/data/announcement/2025/contents/ir00010.pdf>
49. Olympus Subsidiary Arc Medical Settles Patent Infringement Case, Medivators to Cease Sale of AmplifEYE, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://olympusamerica.com/press-release/2021-12-15/olympus-subsidiary-arc-medical-settles-patent-infringement-case-medivators>
50. Global Product Security Policy - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympus-global.com/products/productsecurity/globalpolicy/productssecurity.html>
51. Product Security (Asia Pacific) : Products & Support - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympus-global.com/products/productsecurity/apac.html>
52. 2025 BSX Investor Day 9'30'25, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://investors.bostonscientific.com/~/media/Files/B/Boston-Scientific-IR-V3/2025-bsx-investor-day-slides.pdf>
53. Boston Scientific announces results for third quarter 2025, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://news.bostonscientific.com/2025-10-22-Boston-Scientific-announces-results-for-third-quarter-2025>
54. What is Growth Strategy and Future Prospects of Medtronic Company? - Matrix BCG, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://matrixbcg.com/blogs/growth-strategy/medtronic>
55. Vision and Drivers for Enhancing Corporate Value - Fujifilm, 1月 17, 2026にアクセス、
https://ir.fujifilm.com/en/investors/ir-materials/integrated-report/main/0111/teaserItems/01111114/linkList/0/link/fh_2025_001e.pdf
56. Focus Area 5 : Carbon Neutral Society and Circular Economy : Materiality Topics - Olympus Global, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.olympus-global.com/csr/materiality/focus-area05/?page=csr>
57. OLYMY.US (Olympus Corporation) | Historical Prices and Fundamental Data API - EODHD, 1月 17, 2026にアクセス、<https://eodhd.com/financial-summary/OLYMY.US>